

総務厚生常任委員会

## 第5次総合計画の後期計画は

第5次計画の後期5年間（平成27年度から31年度）の事業計画の概要の説明があった。

- 主なものとして
  - ・ 間伐の推進と里山の整備、公共施設への地域産材の利用。
  - ・ 雇用の確保や創出、伝統地場産業の振興。
  - ・ 子育てにおけるワークライフバランスの推進、保育サービスの充実。
  - ・ 災害に強いまちをつくる。住みよい居住環境をつくる。

### 質疑

**委員** 林業が衰退しているため災害を大きくしている。林業が長期的に続くような取り組みの計画は。  
**当局** 木造の公共施設や木造住宅を町内産木材で町内の大工さんが建てる流れと再生エネルギーとしても導入していきたい。

### 第5次行財政改革大綱（中間報告）

持続可能な行政運営を目指し財政の健全化を維持する。

限られた資源を有効に活用し効率的な行政サービスを持続・発展していくまちづくりを推進する。

● 推進体制  
 期間 平成27年度から31年度まで

・ 白鷹町行財政改革推進協議会の改革に関する提言を反映しながら進める。

・ 行財政改革推進本部で改革の推進の総合調整と進捗よく状況の確認と点検を行なう。

・ 管理職による各課題についての具現化に向けた方策と着実な推進をはかる。

### 質疑

**委員** 大規模な事業が想定されていて地方債残高が増えていくが将来的な計画の考えは。

**当局** 財政運営については5年の中期展望で数値を把握しその時々々の財政規模で適切な事業計画を作成していく。

### 子ども子育て支援事業計画策定

子ども子育て支援法に基づき認定こども園の普及を推進し幼児期の教育や保育の量と質の向上をはかる。

### ● 計画策定の趣旨

子ども一人ひとりが健やかに成長する事のできる社会の実現と子どもの最善の利益が実現される社会を目指すための計画。

### 質疑

**委員** 認定こども園は教諭免許が必要と思うがどのような対応をとるのか。

**当局** 認定されれば、幼稚園教育というかたちになる。教諭の免許更新手続きが発生する。ニーズ調査で3割の方から認定こども園の要望があり、認定に向けた準備や対応が必要。

### その他

- ・ 空き家対策
  - ・ ごみ処理基本計画及び地球温暖化対策実行計画
  - ・ 障害者のグループホーム整備
  - ・ 放課後児童クラブの状況
  - ・ 第7次高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画（中間計画）
- についての説明があった。



親もあんしん 放課後児童クラブ